

1 専任教員の教育・研究業績

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 石原 敬子	大学院における研究指導担当 資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
受講者の故郷と日本の文化を比較する英文素材の活用		2024(令和6)年	受講者の故郷と日本の文化の特徴や魅力について述べる英文を生成し、それらを用いて文章の音声の特徴の分析、音読練習や暗唱を行った。
オンラインツールの活用		2020(令和2)年 ～2022(令和4)年	欠席者の有無に関わらず、毎週の授業進捗・課題・資料の提示をClassroom又はWeb Classで行うようにした。採点後の課題を毎週Webシステム上で返却することで、課題を忘れがちな学生もWebシステムを見る習慣をつけることができる。また必要に応じて、zoomを利用して面談指導を行った。
授業後の復習クイズ課題と授業冒頭での振り返り		2020(令和2)年 ～2022(令和4)年	復習クイズをスマホでも取り組めるシステムにすることで、取り組みやすくした。また毎回同じ形式のクイズを課すこと及び翌週の授業冒頭で間違いの多かった箇所等のポイントを押さえることにより、学生自らが理解度の向上を確認できるようにした。
名言の暗唱		2017(平成29)年 ～2022(令和4)年	授業のウォームアップとして、指定された名言(教員又は学生が提示)のディクテーション、音読、暗唱を行った。音読をする前に英語の文章を見てその音声の特徴を分析し、それをもとに音読することで、自発的に英語のリズムを意識するようになることを目的とする。
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
4 その他教育活動上特記すべき事項			

神戸海星女子学院大学 生涯学習講座「英語発音講座」		2024(令和6)年 5月～7月の土曜日 全8回(各90分)		正しい姿勢での適切な発声で、英語を発話する際に自信をもって声を出せるようになること、さらに相手に伝わりやすい英語で話したり読んだりすることができるようになることを目指して、英語の音声的特徴を理論的に解説し、実践練習を繰り返した。(受講者23名)	
II 研究活動					
著書・論文等の 名 称	単著・ 共著の別	発行または発表の 年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号 数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
論文					
「音から感じる一詩や小説における音象徴に関する一考察」	単	2025.3	『言語文化研究』第8号, 神戸海星女子学院大学言語文化研究所.		pp. 1-9
III 学会等および社会における主な活動					
口頭発表 「音から感じる一詩や小説における音象徴に関する一考察」		神戸海星女子学院大学 第12回 言語文化研究所 研究発表会, 2025年3月22日			